



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

こちら男女共同参画情報局

# はじめてのSDGs

2030年までの17の世界の行動目標をジェンダー平等の視点で考えよう

## SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGs(Sustainable Development Goals)は「持続可能な開発目標」と訳されます。2015年9月に国連で採択された決議『我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ』の中核をなす世界共通の行動目標として、2030年までの達成をめざす17の目標と、それらをより具体的に示す169のターゲットからなります。SDGsは未来志向の目標です。2030年に理想とする世界を描き、その実現のために今何をすべきかを考えます。誰も取り残さない社会の実現のために一緒にアクションを起こしましょう。

参照:国連広報センター[https://www.unic.or.jp/news\\_press/info/24453/](https://www.unic.or.jp/news_press/info/24453/)



◀令和元年7月号【目標1-5】 [http://www.creo-osaka.or.jp/pdf/jyouhouji\\_creo/creo201907\\_08-09.pdf](http://www.creo-osaka.or.jp/pdf/jyouhouji_creo/creo201907_08-09.pdf)  
令和元年10月号【目標6~9】 [http://www.creo-osaka.or.jp/publish/pdf\\_creo/creo191025\\_P7\\_ol.pdf](http://www.creo-osaka.or.jp/publish/pdf_creo/creo191025_P7_ol.pdf)▶



【目標1-5】

【目標6-9】

10 人や国の不平等をなくそう

### 不平等をなくしていくために

「ユニバーサルデザイン」という言葉は、様々な場面で使われるようになりました。障がいの有無・度合い、年齢、性別、国籍などの違いに関わらず、誰もが利用できるように「使いやすく」「わかりやすく」という視点を広めることに役立っています。例えば、まちで見かける「非常口」「トイレ」「禁煙」マークなどの標識(ピクトグラム)は、誰が見てもわかるようにデザインされています。また、車椅子、ベビーカーが通れるスロープや点字ブロックは、公共の場所では一般的になっています。私たちの社会にある格差や不平等をひとつひとつなくしていくことの先に、誰もが生きやすい持続可能な社会があります。

11 住み続けられるまちづくりを

### 災害に強い防災・減災のまちづくり

都市に暮らす人の数は世界の人口の半分以上(54.3%)を占めています。これからも増え続け、2050年には3分の2になると言われています。都市では、地震や台風、洪水などの災害発生時に被害が拡大することが多いため、災害を防ぐ努力が必要になります。大阪では公共施設の耐震化率は全国4位(96.8%)と進んでいますが、ひとたび災害が発生すると誰もが不自由な生活を強いられます。特に、高齢者、障がい者、女性、子どもは災害時に支援を要する場合があります。仮に発生しても被害が少なく済むようなまちづくりには、性別や年齢、置かれた状況の違う様々な住民が、意思決定の場に参加することが欠かせません。

12 つくる責任 つかう責任

### 買うことを通して社会や環境に貢献したい

毎年、生産される食料全体の約3分の1に相当する13億トンが、消費者や小売業者の元で開封されないまま廃棄されています。食べ残しをしない、エネルギーを無駄使いしない、不要なものをリサイクルに出すなどエコな生活は私たちの生活に身近になっています。地球環境問題に関心を寄せる若い世代が増え、「今よりも少しよい未来であってほしい。だから、環境保全に取り組んでいる企業の商品を買って応援したい」と、日々の消費について考え、行動しています。いいものを納得のいく値段で、そして買うことを通して社会や環境に貢献する。持続可能な社会をめざす上で、不便さを受け入れることも必要かもしれません。

13 気候変動に具体的な対策を

### 気候変動に具体的な対策を

ここ数年の異常気象の原因が地球温暖化というのは、今や常識となっています。台風や洪水などですでに多額損失を被っています。今後、夏になると頻りに台風がやってきて甚大な被害を起こすという可能性が高まっています。2015年12月世界全体で気候変動に取り組むことを決めた「パリ協定」が国連で採択されています。また2019年9月の国連気候行動サミットでは、16歳の環境活動家のグレタ・トゥーンベリさんが世界に訴えた気候変動危機は多くの大人たちに訴えかけました。彼女のメッセージはシンプルです。子どもたちに明るい未来を残すために大人たちの行動が問われています。